



通津小だより



岩国市立通津小学校 (0827)38-1011

進んであいさつできるステキな通津っ子が増えています

校長室には日々地域の方や教育関係者等、いろいろなお客様がお見えになります。先日も教育関係者の方がお一人いらっしゃいました。その方は私の顔を見るや否や「校長先生！とてもうれしいことがありました。ここに来るまでに少し学校の周辺を歩いてみたのです。すると途中で計10人ぐらいの子どもたちに出会いました。なんと、全員の子どもがそれぞれ元気にあいさつしてくれたんですよ！とても温かい気持ちになりました。」と笑顔で話されました。校内ですれちがう時にあいさつや会釈をする子どもが増えているように感じていましたが、校舎の外でもこのように進んであいさつする子どもたちが増えてきていることに気づかせていただきました。その話を聞いて、私もとてもうれしかったです。

2学期以降もめざす子ども像の一つ「思いやりをもち、他者とのコミュニケーションを大切にする子」を育む教育活動に継続して取り組んでいきたいと思ひます。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。安全で楽しく、有意義な夏休みを過ごし、また元気な「おはようございます！」の声を響かせてほしいと思ひます。

保護者そして地域の皆様には、1学期の間、本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

「ウサギとカメ」もう一度勝負すると結果はどうなる？

私が小学校1年生の時に祖父がプレゼントしてくれた「イソップ童話」。挿絵も少ない児童書で最初は興味をもてなかったのですが、読み進めていくと短いお話ばかりで読みやすく、一つ一つのお話のメッセージを読み解くことがおもしろくなり、すっかり気に入ってぼろぼろになるまで何度も読み返したことを今でもよく覚えています。終業式で子どもたちにも物語が伝えるメッセージをそれぞれ自分なりに解釈してもらいたいと思ひ、昨年は「アリとキリギリス」テーマに話をしました。夏休みを前に宿題や規則正しい生活にどう取り組むか、自分はアリタイプ？キリギリスタイプ？と投げかけてみました。

今年取り上げたお話は「ウサギとカメ」です。とても有名なお話なのであらずしはほとんどの子どもが知っていました。そこで「もし、もう一度ウサギとカメが同じ勝負をすると結果はどうなると思ひますか？」と質問をしてみました。当然カメより足の速いウサギが先にゴールするはずと思う子どもが多いです。

しかし、もう一度勝負してもウサギはカメより先にゴールすることができないかもしれません。この物語の伝えるメッセージは何なのでしょう？

ウサギがカメになぜ先を越されたのか自分をふり振り返り、カメにあって自分に足りない力（例えば根気や集中力、努力、などでしょうか？）に気がつけば結果は変わってくるかもしれません。イソップ物語のお話を通して、夏休みの課題への向き合い方を今年も子どもたちと考えてみました。

子どもたちがゴールをめざして着実に進めるよう応援しています。

イソップ物語について

☆紀元前6世紀古代ギリシャ時代にイソップという人物が語ったとされる物語を集めた寓話集

☆擬人化した動物が登場することが多い。

☆短い話の中に現代にも通じる教訓や風刺めいた内容が凝縮されていて大人も楽しんで読むことができる。

☆日本には伝わったのは16世紀後半

8月

- 10日(日) サマーフェスタin通津
- 12日(火) 学校閉庁
- 13日(水) 学校閉庁
- 14日(木) 学校閉庁
- 15日(金) 学校閉庁
- 22日(金) 小中合同職員会
小中学校運営協議会
- 24日(日) **登校日・親子奉仕作業**
- 25日(月) 振り替え休日

9月

- 1日(月) **始業式 給食開始**
- 2日(火) 5校時日程
- 3日(水) 一斉下校
- 4日(木) 委員会活動・口座振替日
- 18日(木) クラブ活動
- 20日(土) 環境美化作業 (CS草刈り予定)
- 21日(日) 家庭読書の日
- 24日(水) 社会見学4年生
- 27日(土) 通津中学校体育祭 (予備日28日)



コミスクひろば～学校の様子を紹介します～

自分たちの学校をクラスをよりよく、より楽しく

～子どもたちに主体性を育む教育活動の一貫として～【校則の見直し編】

通学用運動靴の色の自由化決定！

本校はこれまで、通学用の履物について「白色の運動靴」としてきましたが、この度、児童会（代表委員会）、教職員、学校運営協議会で検討した結果、通学用の靴の色の自由化を進める方向で意見がまとまりました。

代表委員会では、各クラスの代表児童、委員会委員長が出席し、意見をもちよりました。最初の段階では従来通り白い運動靴が良いという意見と、靴の色の自由化を求める意見がちょうど半々でした。その後メリットやデメリットを挙げながら意見を交わすと、次第に靴の色を自由することで汎用性が広がること等、説得力のある意見に納得する子どもが増え、最終的には全会一致で通学用運動靴の色の自由化を進めることに決まりました。また、話合う中で自由化を進める際に、新たにルールが必要だという意見が子どもたちから出され、ルールについても具体的に検討されました。



学校運営協議会委員の方々に話し合いの様子を見守っていただきました。「異なる立場の意見も尊重しながら、互いに自分の考えを堂々と述べる姿に頼もしさを感じる」と褒めていただきました。



代表委員会が出された意見を以下に記載します。子どもたちがしっかりと議題に向き合い、よく考えていることに感心させられます。新しいルールのもと、今後は下足箱に白を含めいろいろな色の靴が整然と並ぶことでしょう。



	白い運動靴	自由な色の運動靴(色指定無し)
メリット	□通津の伝統だから。(中学校も白色の靴) □白を使っていて問題がないから。 □きちんとしていてイメージはよい。(統一感) □おうちの人汚れに気付いてくれるから。 □もめごとにならないから。 □値段が安いから。	□はき慣れている。 □安い。 □種類が多い。 □好きな物を選ぶことができる。 □白い靴が汚れても次の日汚れていない自由の靴を履いて行ける。 □すぐ洗わなくてよい。 □いろいろなところで使える。 □自分の靴が分かりやすい。
デメリット	□白は汚れが目立つ。 □少し値段が高い。 □全員白色だから履き間違いがおきる。 □学校用の靴と家用の靴を2つ買わないといけない、お金もかかる。	□集中できない。(体育など) □派手な靴は目がチカチカする。 □音が鳴る靴はうるさい。 □トラブルの原因になる。 □お気に入りの靴が汚れるのはいや。 □黒い靴は名前がわかりにくい。